

岡山県の景気観測調査

(令和3年1～3月期実績)

令和3年 4月23日

(一社)岡山県商工会議所連合会

1. 調査方法 FAXによるアンケート
2. 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①令和3年1～3月期を前年同期と比較
②令和3年4～6月期の先行き見通しを令和3年1～3月期と比較
3. 調査時期 3月下旬
4. 調査対象 県下商工会議所会員企業564社
5. 有効回答数 539社 (回収率95.6%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|------------|------------|
| 製造業 | 185社 | 食料品28社 | 繊維関連33社 | 紙・印刷・出版20社 |
| | | 機械金属35社 | 電気・精密機械10社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具13社 | その他37社 | |
| 建設業 | 93社 | | | |
| 卸売業 | 68社 | | | |
| 小売業 | 87社 | | | |
| サービス業 | 106社 | | | |
6. 調査開始時期 平成10年(1998年)12月
7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式
DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

8. 問い合わせ先 (一社)岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	事業推進部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	経営支援課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	経営支援課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	総務課	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	経営支援課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	経営支援部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	経営支援課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	地域支援課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

令和3年1～3月期「景況概要」

「景況DIは製造業の持ち直しが寄与し3期連続で改善したものの、サービス業で力強さに欠ける」

景況全体では、DI値が▲32.6となり、前期(▲41.6)と比べ、9.0ポイントマイナス幅が縮小し、3期連続での改善となった。製造業では仕入価格の上昇が足かせとなっているものの、売上・受注の回復が顕著で、改善の動きが鮮明となった。一方、サービス業では販売価格の下落等の影響を受け、回復は小幅に留まった。来期も引き続き持ち直しが見込まれるが、コロナ禍による経済活動への影響を懸念する声は多く、半導体等の原材料不足や、仕入価格の先行き上昇見通しなどの不安定要素も注視していく必要がある。

1. 景況

総合DI（好転－悪化）は▲32.6と10～12月期に比べ9.0ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

2. 生産額・売上額

総合DI（増加－減少）は▲44.4と10～12月期に比べ6.9ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

3. 受注額

総合DI（増加－減少）は▲33.7と10～12月期に比べ12.5ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が縮小した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI（下降－上昇）は▲14.4と10～12月期に比べ9.2ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、卸売業ではプラスからマイナスへ転換、製造業、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI（上昇－下降）は▲8.0と10～12月期に比べ0.6ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、卸売業でマイナスからプラスへ転換、小売業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI（減少－増加）は8.8と10～12月期に比べ0.1ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、卸売業、小売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業ではプラス幅が縮小、サービス業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

7. 資金繰り

総合DI（好転－悪化）は▲20.7と10～12月期に比べ3.9ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

8. 採算（収益）

総合DI（好転－悪化）は▲33.8と10～12月期に比べ7.9ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

9. 従業員（常用）

総合DI（不足－過剰）は13.5と10～12月期に比べ1.7ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、卸売業、小売業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、建設業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

10. 従業員（臨時）

総合DI（不足－過剰）は5.4と10～12月期に比べ2.3ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、製造業でプラス幅が拡大、卸売業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、建設業、小売業ではプラス幅が縮小、サービス業ではプラスからマイナスへ転換した。

1. 景況

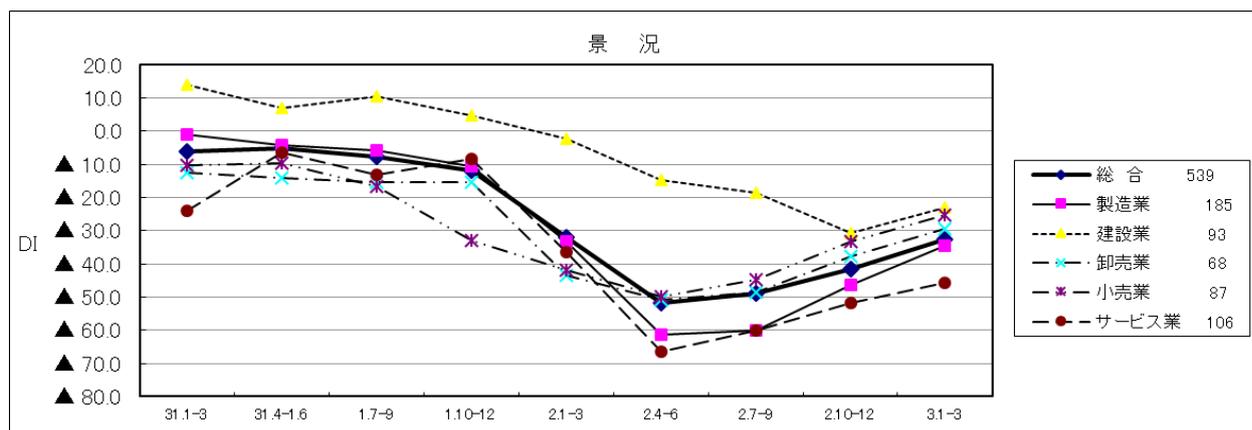
(1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲32.6と10～12月期に比べ9.0ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

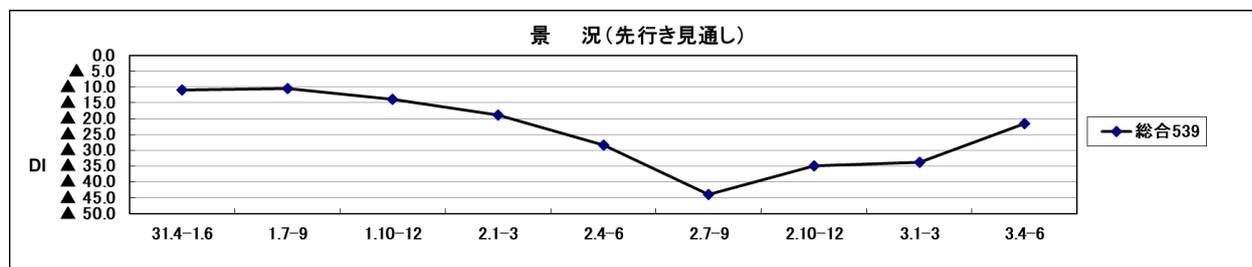
令和3年4～6月の見通し総合DIは▲21.5（前回調査時の先行き見通し総合DI▲33.8）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

景況		31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	539	▲ 6.3	▲ 5.1	▲ 7.9	▲ 12.0	▲ 32.0	▲ 51.7	▲ 49.0	▲ 41.6	▲ 32.6
製造業	185	▲ 1.1	▲ 4.3	▲ 5.9	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 61.4	▲ 60.1	▲ 46.4	▲ 34.6
建設業	93	14.1	6.9	10.6	4.6	▲ 2.5	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 30.8	▲ 23.1
卸売業	68	▲ 12.5	▲ 14.1	▲ 15.3	▲ 15.3	▲ 43.5	▲ 50.7	▲ 48.5	▲ 37.7	▲ 29.4
小売業	87	▲ 10.2	▲ 9.6	▲ 16.7	▲ 33.0	▲ 41.8	▲ 50.0	▲ 44.7	▲ 33.3	▲ 25.3
サービス業	106	▲ 23.9	▲ 6.4	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 36.4	▲ 66.4	▲ 60.0	▲ 51.9	▲ 45.7



<参考> 先行き見通し

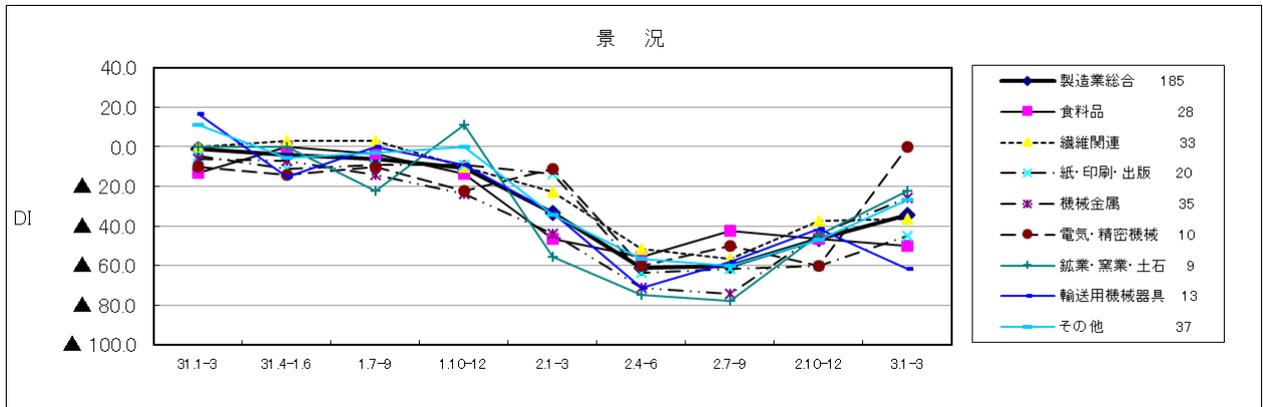
先行き見通し		31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	539	▲ 11.0	▲ 10.6	▲ 13.8	▲ 18.9	▲ 28.3	▲ 44.0	▲ 34.9	▲ 33.8	▲ 21.5



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

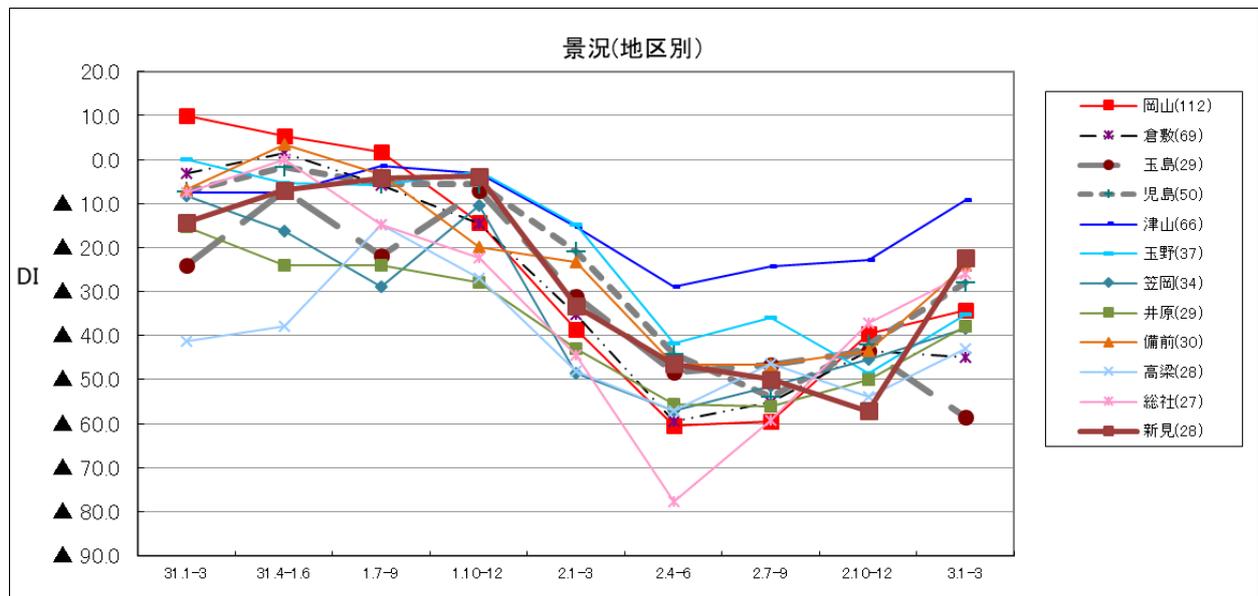
景況		31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	185	▲ 1.1	▲ 4.3	▲ 5.9	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 61.4	▲ 60.1	▲ 46.4	▲ 34.6
食料品	28	▲ 13.3	0.0	▲ 3.4	▲ 13.8	▲ 46.4	▲ 55.6	▲ 42.3	▲ 46.4	▲ 50.0
繊維関連	33	0.0	2.9	3.0	▲ 10.0	▲ 22.6	▲ 51.6	▲ 56.7	▲ 37.5	▲ 36.4
紙・印刷・出版	20	▲ 4.5	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 13.6	▲ 63.6	▲ 61.9	▲ 60.0	▲ 45.0
機械金属	35	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 44.1	▲ 71.4	▲ 74.3	▲ 44.1	▲ 25.7
電気・精密機械	10	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 60.0	0.0
鉱業・窯業・土石	9	0.0	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 55.6	▲ 75.0	▲ 77.8	▲ 44.4	▲ 22.2
輸送用機械器具	13	16.7	▲ 15.4	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 58.3	▲ 41.7	▲ 61.5
その他	37	11.1	▲ 5.6	▲ 2.9	0.0	▲ 34.2	▲ 56.8	▲ 60.0	▲ 47.2	▲ 27.0



<参考>地区別

岡山、児島、津山、玉野、笠岡、井原、備前、高梁、総社、新見ではマイナス幅が縮小した。しかし、倉敷、玉島ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
岡山(112)	9.9	5.4	1.7	▲ 14.3	▲ 38.5	▲ 60.4	▲ 59.4	▲ 39.4	▲ 34.2
倉敷(69)	▲ 3.1	1.4	▲ 5.8	▲ 14.5	▲ 35.3	▲ 59.4	▲ 55.1	▲ 43.5	▲ 44.9
玉島(29)	▲ 24.1	▲ 6.9	▲ 21.9	▲ 6.9	▲ 31.0	▲ 48.4	▲ 46.7	▲ 43.3	▲ 58.6
児島(50)	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 20.8	▲ 44.2	▲ 54.0	▲ 42.0	▲ 28.0
津山(66)	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 1.5	▲ 3.0	▲ 15.2	▲ 28.8	▲ 24.2	▲ 22.7	▲ 9.1
玉野(37)	0.0	▲ 5.4	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 14.7	▲ 41.7	▲ 35.9	▲ 48.6	▲ 35.1
笠岡(34)	▲ 8.1	▲ 16.2	▲ 28.9	▲ 10.5	▲ 48.6	▲ 57.1	▲ 51.4	▲ 45.5	▲ 38.2
井原(29)	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 24.1	▲ 28.0	▲ 42.9	▲ 55.6	▲ 56.0	▲ 50.0	▲ 37.9
備前(30)	▲ 6.7	3.3	▲ 3.3	▲ 20.0	▲ 23.3	▲ 46.7	▲ 46.7	▲ 43.3	▲ 24.1
高梁(28)	▲ 41.4	▲ 37.9	▲ 14.8	▲ 26.9	▲ 48.0	▲ 57.1	▲ 46.4	▲ 53.8	▲ 42.9
総社(27)	▲ 7.4	0.0	▲ 14.8	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 77.8	▲ 59.3	▲ 37.0	▲ 25.9
新見(28)	▲ 14.3	▲ 6.9	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 33.3	▲ 46.4	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 22.2



2. 生産額・売上額

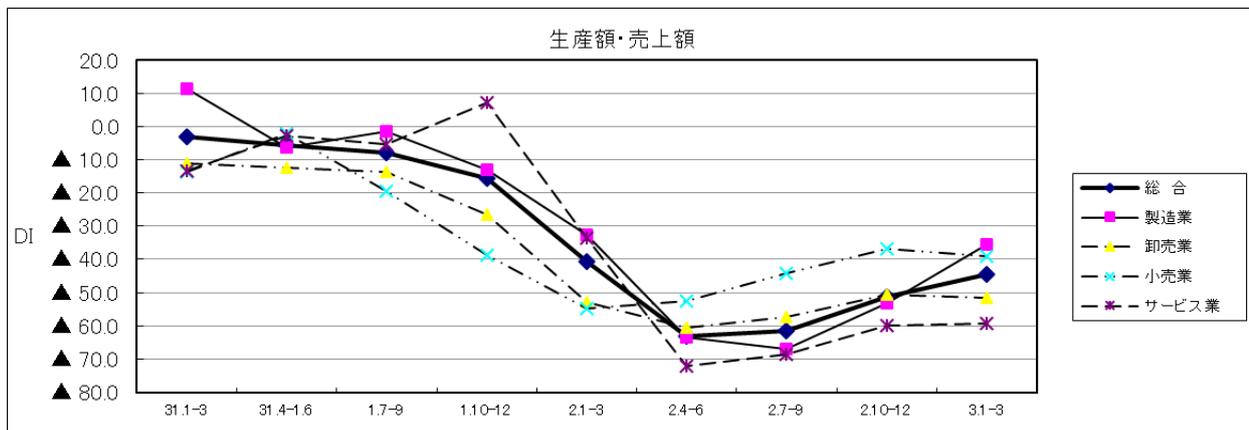
(1) 全体

総合D I（増加－減少）は▲44.4と10～12月期に比べ6.9ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

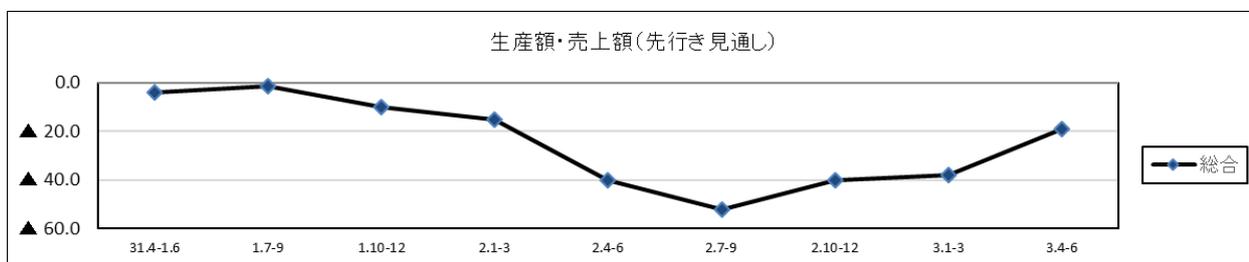
令和3年4～6月期の先行き見通し総合D Iは▲19.2（前回▲37.8）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

生産額・売上額	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲3.1	▲5.6	▲7.9	▲15.5	▲40.6	▲63.2	▲61.5	▲51.3	▲44.4
製造業	11.2	▲6.3	▲1.6	▲13.1	▲32.8	▲63.4	▲67.0	▲53.0	▲35.7
卸売業	▲11.0	▲12.5	▲13.7	▲26.4	▲52.9	▲60.6	▲57.4	▲50.7	▲51.5
小売業	▲13.6	▲2.1	▲19.4	▲38.7	▲54.8	▲52.4	▲44.0	▲36.9	▲39.1
サービス業	▲13.5	▲2.7	▲5.3	7.2	▲33.6	▲72.2	▲68.5	▲60.0	▲59.4



<参考> 先行き見通し

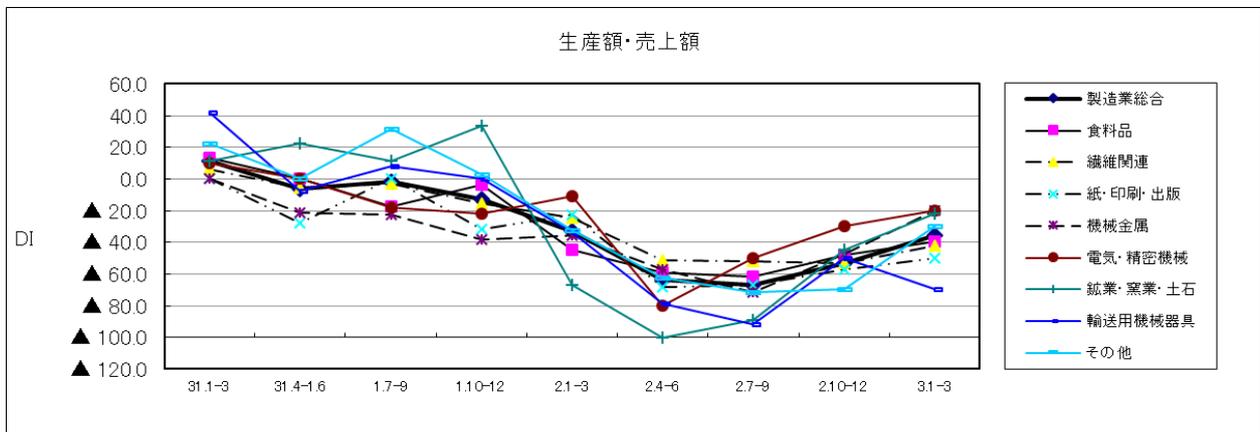
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	▲4.0	▲1.3	▲9.9	▲15.2	▲40.3	▲52.2	▲40.3	▲37.8	▲19.2



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

生産額・売上額	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	11.2	▲ 6.3	▲ 1.6	▲ 13.1	▲ 32.8	▲ 63.4	▲ 67.0	▲ 53.0	▲ 35.7
食料品	13.3	0.0	▲ 17.2	▲ 3.4	▲ 44.4	▲ 59.3	▲ 61.5	▲ 48.1	▲ 39.3
繊維関連	5.9	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 24.2	▲ 51.5	▲ 51.6	▲ 53.1	▲ 42.4
紙・印刷・出版	0.0	▲ 27.8	0.0	▲ 31.8	▲ 22.7	▲ 68.2	▲ 66.7	▲ 57.1	▲ 50.0
機械金属	0.0	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 35.3	▲ 57.1	▲ 71.4	▲ 47.1	▲ 20.0
電気・精密機械	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 20.0
鉱業・窯業・土石	11.1	22.2	11.1	33.3	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 88.9	▲ 44.4	▲ 22.2
輸送用機械器具	41.7	▲ 7.7	8.3	0.0	▲ 33.3	▲ 78.6	▲ 91.7	▲ 50.0	▲ 69.2
その他	22.2	0.0	31.4	2.7	▲ 32.4	▲ 62.2	▲ 71.4	▲ 69.4	▲ 29.7



3. 受注額

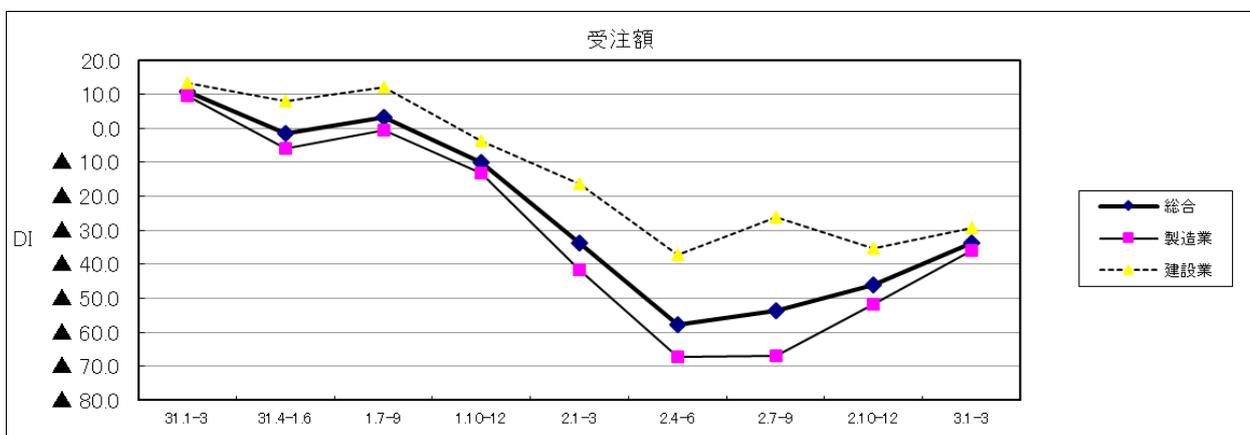
(1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲33.7と10～12月期に比べ12.5ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が縮小した。

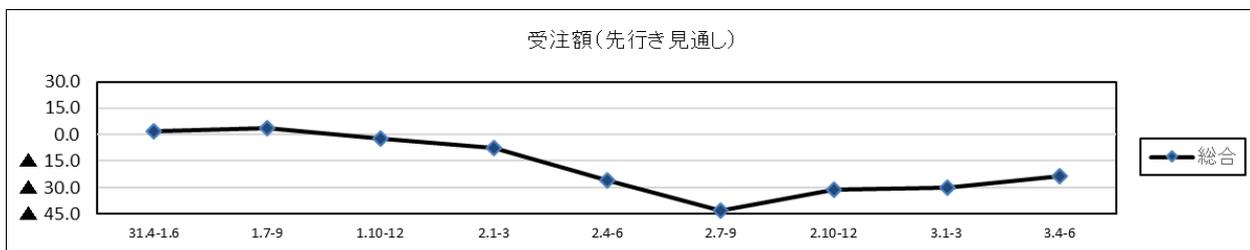
令和3年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲23.8（前回▲29.9）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

受注額	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	10.7	▲1.4	3.3	▲10.1	▲33.8	▲57.7	▲53.6	▲46.2	▲33.7
製造業	9.6	▲5.8	▲0.5	▲13.1	▲41.5	▲67.2	▲67.0	▲51.6	▲35.9
建設業	13.3	8.0	12.0	▲3.6	▲16.3	▲37.2	▲26.1	▲35.2	▲29.2



<参考> 先行き見通し

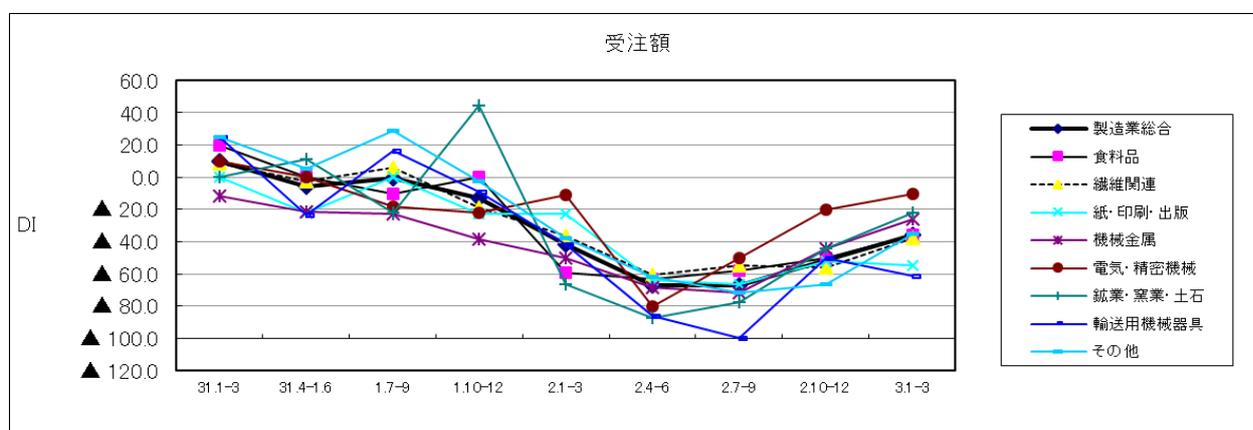
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	1.9	3.7	▲2.6	▲7.4	▲26.1	▲43.2	▲31.2	▲29.9	▲23.8



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

受注額	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	9.6	▲ 5.8	▲ 0.5	▲ 13.1	▲ 41.5	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 51.6	▲ 35.9
食料品	20.0	0.0	▲ 10.3	0.0	▲ 59.3	▲ 63.0	▲ 57.7	▲ 50.0	▲ 35.7
繊維関連	8.8	▲ 2.8	5.7	▲ 18.8	▲ 36.4	▲ 60.6	▲ 54.8	▲ 56.3	▲ 37.5
紙・印刷・出版	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 22.7	▲ 22.7	▲ 63.6	▲ 66.7	▲ 52.4	▲ 55.0
機械金属	▲ 11.8	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 50.0	▲ 68.6	▲ 71.4	▲ 44.1	▲ 25.7
電気・精密機械	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	0.0	11.1	▲ 22.2	44.4	▲ 66.7	▲ 87.5	▲ 77.8	▲ 44.4	▲ 22.2
輸送用機械器具	25.0	▲ 23.1	16.7	▲ 9.1	▲ 41.7	▲ 85.7	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 61.5
その他	25.0	5.6	28.6	▲ 2.7	▲ 37.8	▲ 62.2	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 35.1



4. 原材料・商品仕入価格

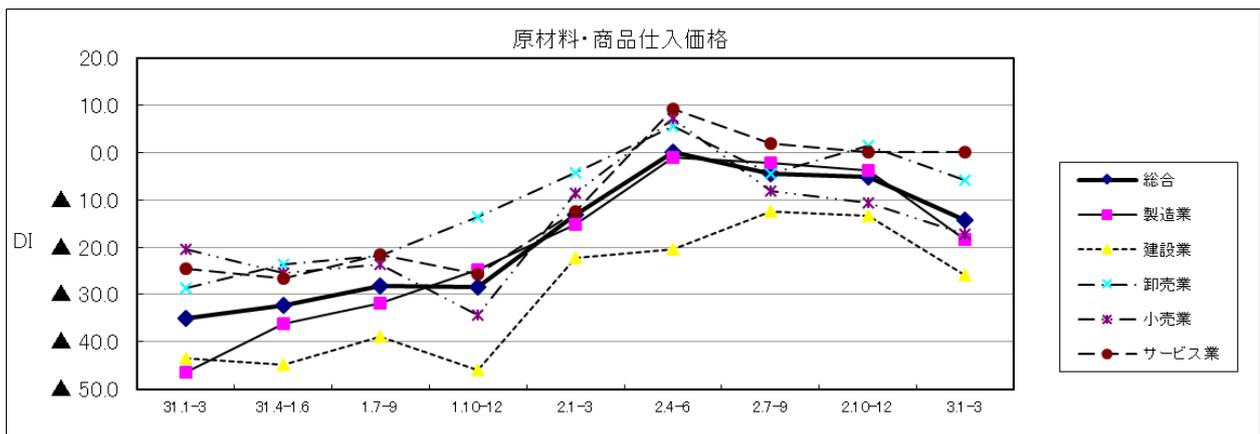
(1) 全体

総合DI（下降→上昇）は▲14.4と10～12月期に比べ9.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、サービス業でプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、卸売業ではプラスからマイナスへ転換、製造業、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

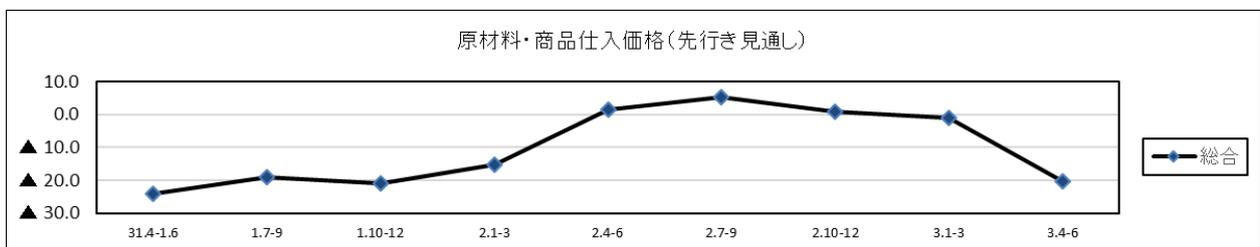
令和3年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲20.4（前回▲1.0）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

原材料・商品仕入価格	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲35.0	▲32.2	▲28.3	▲28.5	▲13.1	0.0	▲4.4	▲5.2	▲14.4
製造業	▲46.5	▲36.2	▲31.9	▲24.7	▲15.1	▲1.1	▲2.2	▲3.9	▲18.4
建設業	▲43.5	▲44.8	▲38.8	▲46.0	▲22.2	▲20.5	▲12.4	▲13.5	▲25.8
卸売業	▲28.8	▲23.6	▲21.9	▲13.7	▲4.3	5.6	▲4.4	1.4	▲5.9
小売業	▲20.5	▲25.5	▲23.7	▲34.4	▲8.6	7.1	▲8.2	▲10.7	▲17.2
サービス業	▲24.5	▲26.7	▲21.7	▲25.7	▲12.4	9.2	1.9	0.0	0.0



<参考> 先行き見通し

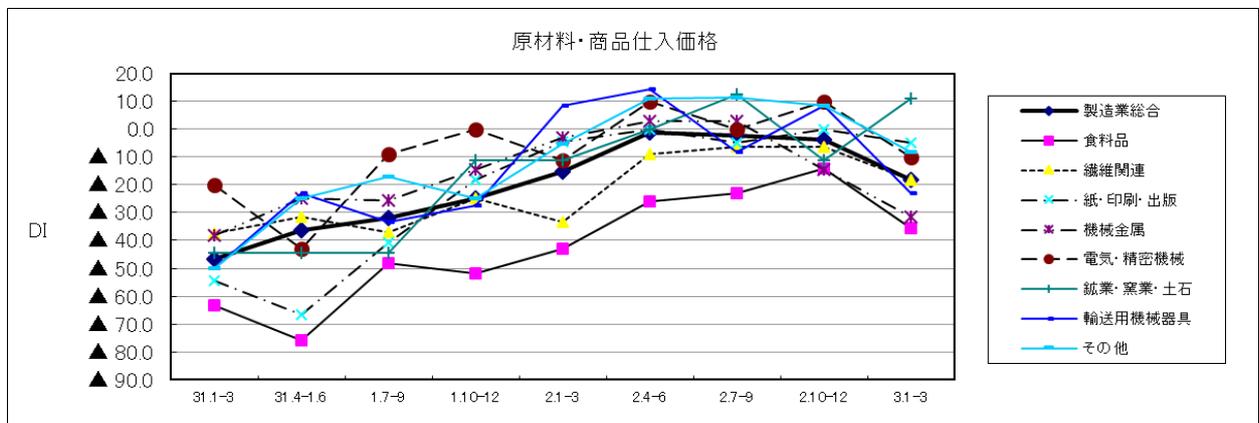
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	▲24.2	▲19.0	▲21.0	▲15.4	1.5	5.2	1.0	▲1.0	▲20.4



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換した。しかし、電気・精密機械、輸送用機械器具、その他ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、食料品、繊維関連、機械金属ではマイナス幅が拡大した。

原材料・商品仕入価格	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7	▲ 15.1	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 3.9	▲ 18.4
食料品	▲ 63.3	▲ 76.0	▲ 48.3	▲ 51.7	▲ 42.9	▲ 25.9	▲ 23.1	▲ 14.3	▲ 35.7
繊維関連	▲ 37.5	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 6.3	▲ 18.2
紙・印刷・出版	▲ 54.5	▲ 66.7	▲ 40.9	▲ 18.2	▲ 4.5	0.0	▲ 4.8	0.0	▲ 5.0
機械金属	▲ 38.2	▲ 25.0	▲ 25.7	▲ 14.7	▲ 2.9	2.9	2.9	▲ 14.7	▲ 31.4
電気・精密機械	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 9.1	0.0	▲ 11.1	10.0	0.0	10.0	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	12.5	▲ 11.1	11.1
輸送用機械器具	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 27.3	8.3	14.3	▲ 8.3	8.3	▲ 23.1
その他	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 17.1	▲ 25.0	▲ 5.3	10.8	11.4	8.3	▲ 8.1



5. 製品・商品販売価格

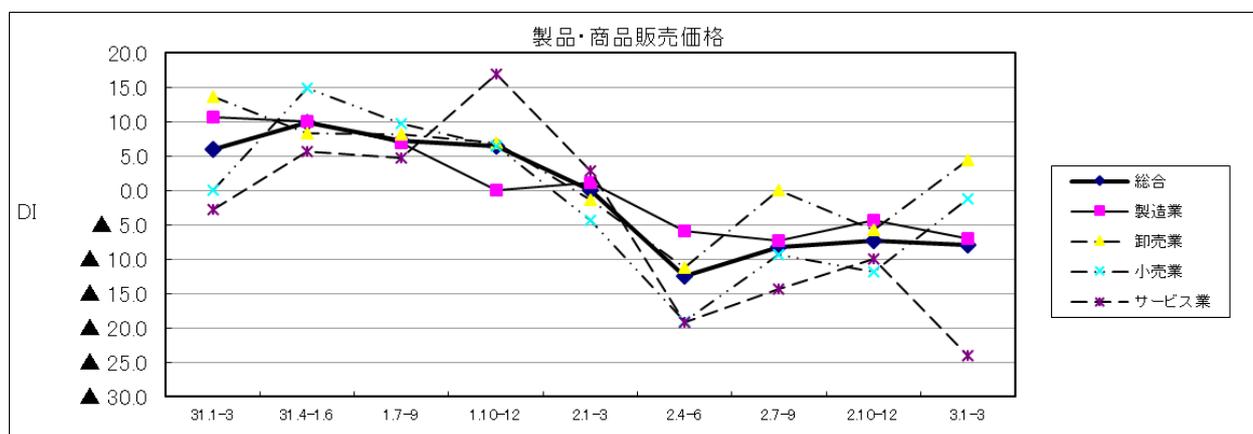
(1) 全体

総合D I (上昇-下降) は▲8.0と10~12月期に比べ0.6ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、卸売業でマイナスからプラスへ転換、小売業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

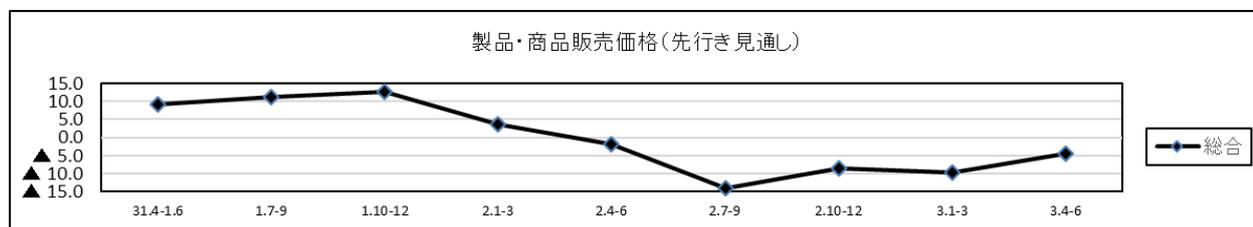
令和3年4~6月期の先行き見通し総合D Iは▲4.3 (前回▲9.7) となり、マイナス幅が縮小する見通し。

製品・商品販売価格	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	5.9	9.8	7.2	6.4	0.0	▲12.4	▲8.3	▲7.4	▲8.0
製造業	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1	▲5.9	▲7.3	▲4.4	▲7.0
卸売業	13.7	8.3	8.2	6.8	▲1.4	▲11.3	0.0	▲5.8	4.4
小売業	0.0	14.9	9.7	6.5	▲4.3	▲19.0	▲9.4	▲11.9	▲1.1
サービス業	▲2.8	5.7	4.8	17.0	2.9	▲19.3	▲14.4	▲10.0	▲24.0



<参考> 先行き見通し

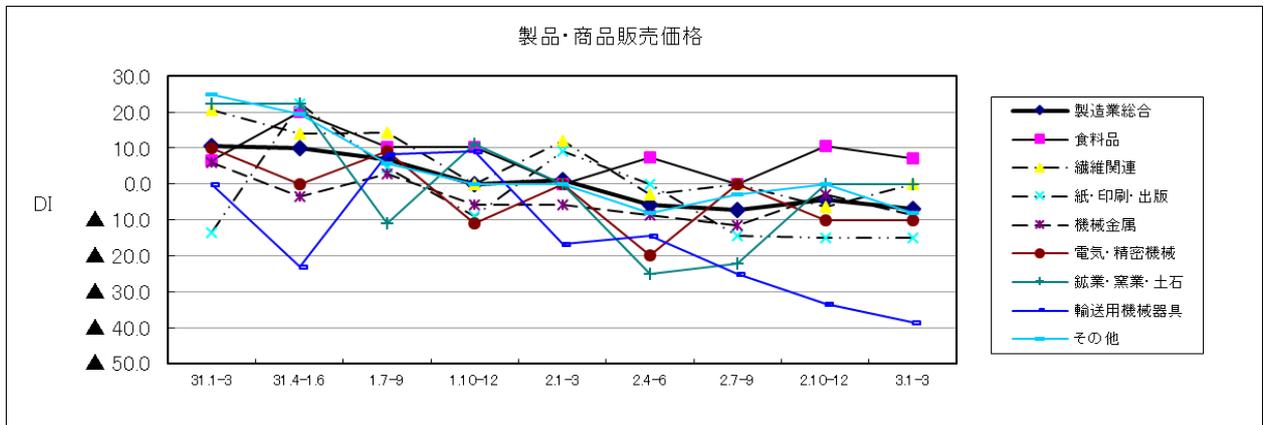
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	9.2	11.2	12.7	3.6	▲1.8	▲14.2	▲8.6	▲9.7	▲4.3



(2) 製造業の内訳

繊維関連ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばい、紙・印刷・出版、電気・精密機械ではマイナスで横ばいとなった。しかし、食料品ではプラス幅が縮小、その他ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、機械金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

製品・商品販売価格	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1	▲ 5.9	▲ 7.3	▲ 4.4	▲ 7.0
食料品	6.7	20.0	10.3	10.3	0.0	7.4	0.0	10.7	7.1
繊維関連	20.6	13.9	14.3	0.0	12.1	▲ 3.0	0.0	▲ 6.3	0.0
紙・印刷・出版	▲ 13.6	22.2	4.5	▲ 9.1	9.1	0.0	▲ 14.3	▲ 15.0	▲ 15.0
機械金属	5.9	▲ 3.6	2.9	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 8.6	▲ 11.4	▲ 2.9	▲ 8.6
電気・精密機械	10.0	0.0	9.1	▲ 11.1	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 10.0	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	22.2	22.2	▲ 11.1	11.1	0.0	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0	0.0
輸送用機械器具	0.0	▲ 23.1	8.3	9.1	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 38.5
その他	25.0	19.4	5.7	0.0	0.0	▲ 8.1	▲ 2.9	0.0	▲ 8.1



6. 製品在庫・商品在庫

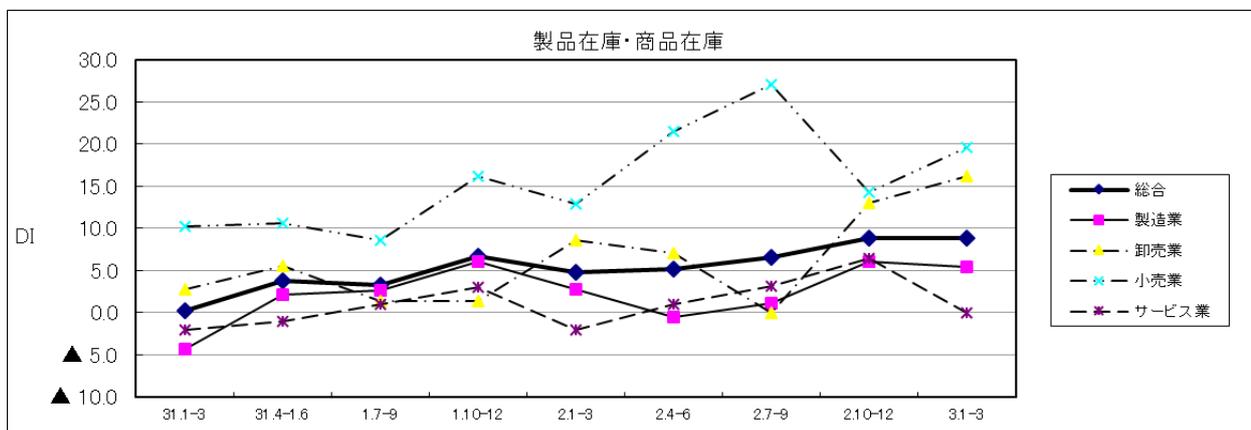
(1) 全体

総合DI（減少－増加）は8.8と10～12月期に比べ0.1ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、卸売業、小売業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業ではプラス幅が縮小、サービス業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

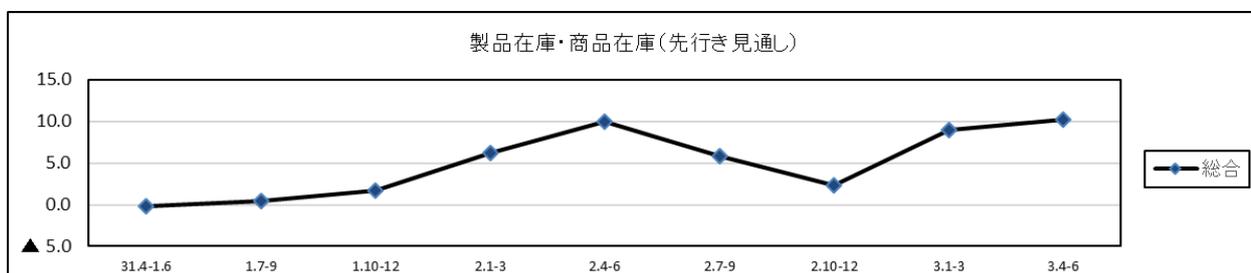
令和3年4～6月期の先行き見通し総合DIは10.2（前回8.9）となり、プラス幅が拡大する見通し。

製品在庫・商品在庫	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	0.2	3.7	3.3	6.7	4.7	5.2	6.5	8.9	8.8
製造業	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7	▲ 0.5	1.1	6.0	5.4
卸売業	2.7	5.6	1.4	1.4	8.6	7.0	0.0	13.0	16.2
小売業	10.2	10.6	8.6	16.1	12.9	21.4	27.1	14.3	19.5
サービス業	▲ 2.0	▲ 1.0	1.0	3.0	▲ 2.0	1.0	3.1	6.5	0.0



<参考> 先行き見通し

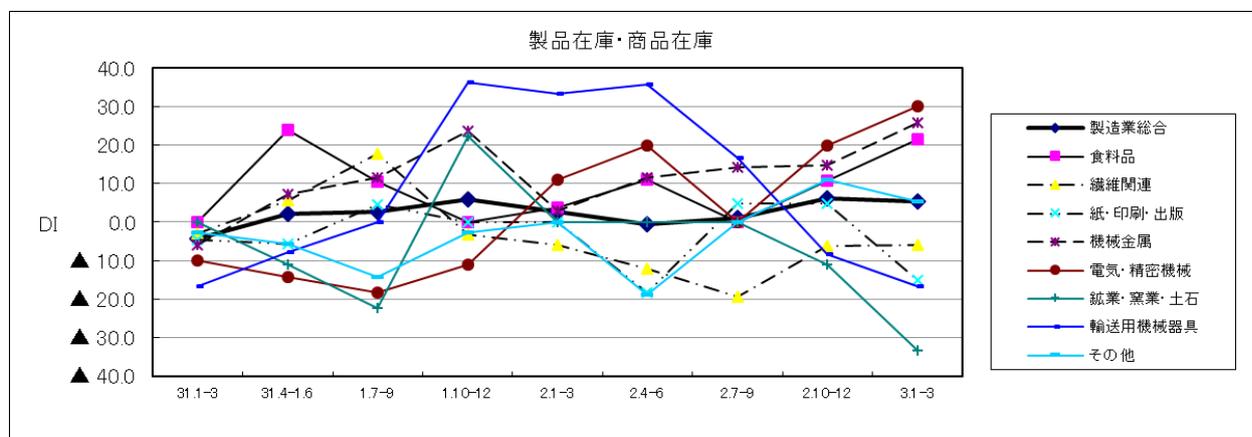
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	▲ 0.2	0.4	1.8	6.3	10.0	5.9	2.4	8.9	10.2



(2) 製造業の内訳

食料品、機械金属、電気・精密機械ではプラス幅が拡大、繊維関連ではマイナス幅が縮小した。しかし、その他ではプラス幅が縮小、紙・印刷・出版ではプラスからマイナスへ転換、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

製品在庫・商品在庫	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7	▲ 0.5	1.1	6.0	5.4
食料品	0.0	24.0	10.3	0.0	3.7	11.1	0.0	10.7	21.4
繊維関連	▲ 2.9	5.6	17.6	▲ 3.1	▲ 6.1	▲ 12.1	▲ 19.4	▲ 6.3	▲ 6.1
紙・印刷・出版	▲ 4.5	▲ 5.6	4.5	0.0	0.0	▲ 18.2	4.8	4.8	▲ 15.0
機械金属	▲ 5.9	7.1	11.4	23.5	2.9	11.4	14.3	14.7	25.7
電気・精密機械	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 18.2	▲ 11.1	11.1	20.0	0.0	20.0	30.0
鉱業・窯業・土石	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 33.3
輸送用機械器具	▲ 16.7	▲ 7.7	0.0	36.4	33.3	35.7	16.7	▲ 8.3	▲ 16.7
その他	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 14.3	▲ 2.7	0.0	▲ 18.9	0.0	11.1	5.4



7. 資金繰り

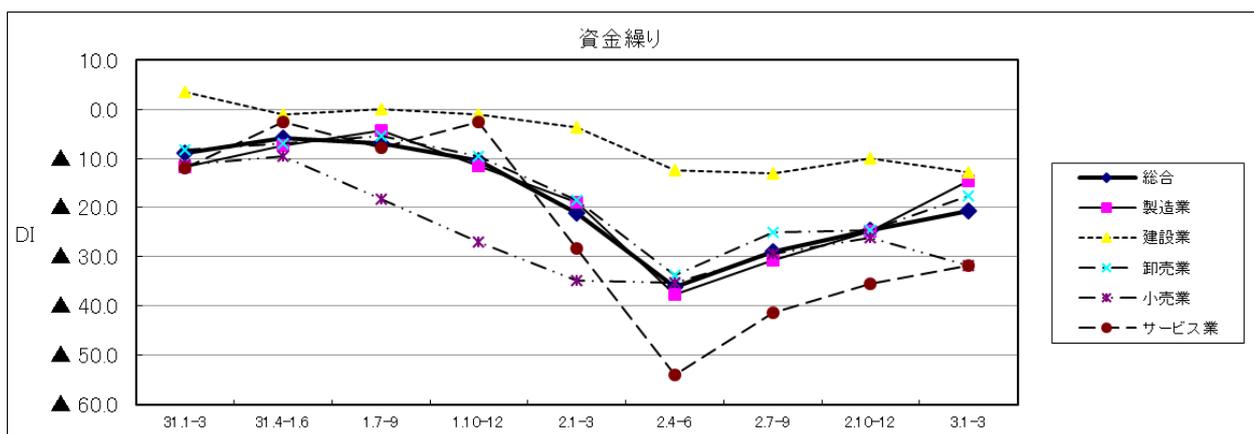
(1) 全体

総合D I（好転－悪化）は▲20.7と10～12月期に比べ3.9ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

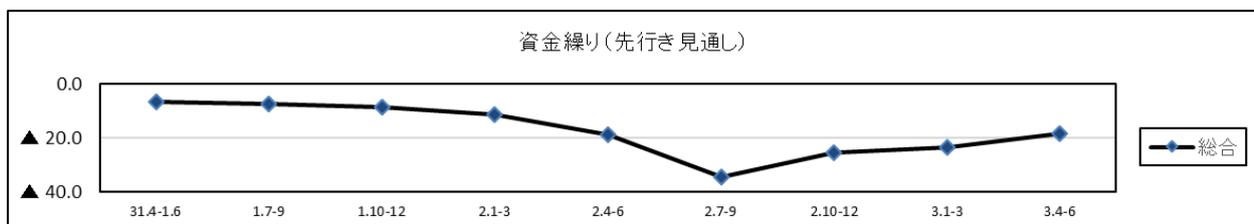
令和3年4～6月期の先行き見通し総合D Iは▲18.4（前回▲23.7）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

資金繰り	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲ 8.8	▲ 5.8	▲ 6.9	▲ 10.4	▲ 21.2	▲ 36.1	▲ 29.0	▲ 24.6	▲ 20.7
製造業	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 11.5	▲ 19.0	▲ 37.6	▲ 30.7	▲ 24.7	▲ 14.6
建設業	3.5	▲ 1.1	0.0	▲ 1.1	▲ 3.6	▲ 12.4	▲ 13.0	▲ 9.9	▲ 12.9
卸売業	▲ 8.2	▲ 6.9	▲ 5.5	▲ 9.6	▲ 18.6	▲ 33.8	▲ 25.0	▲ 24.6	▲ 17.6
小売業	▲ 11.4	▲ 9.6	▲ 18.3	▲ 26.9	▲ 34.8	▲ 35.2	▲ 29.4	▲ 26.2	▲ 31.8
サービス業	▲ 11.9	▲ 2.7	▲ 7.9	▲ 2.7	▲ 28.2	▲ 53.9	▲ 41.4	▲ 35.5	▲ 31.7



<参考> 先行き見通し

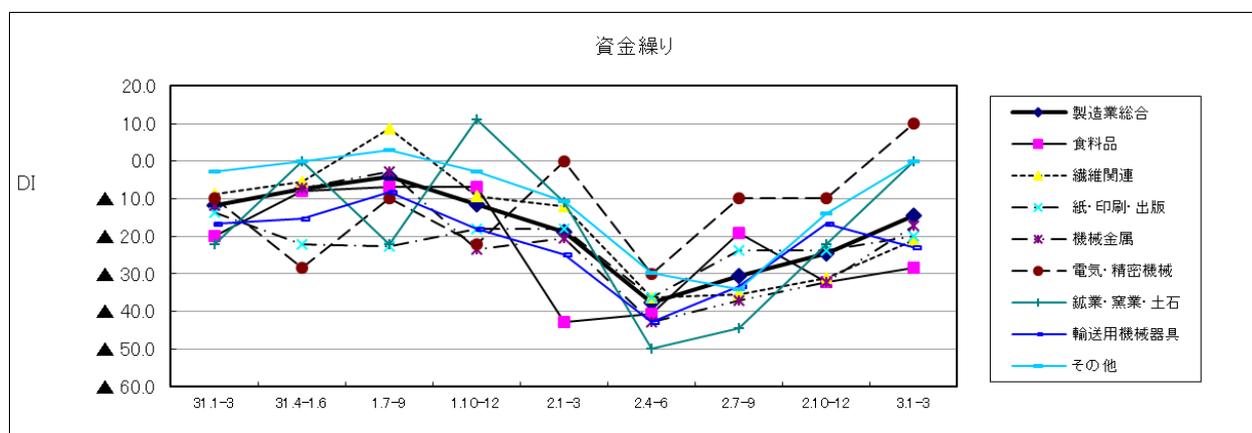
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	▲ 6.8	▲ 7.2	▲ 8.5	▲ 11.4	▲ 18.8	▲ 34.6	▲ 25.7	▲ 23.7	▲ 18.4



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナスからプラスへ転換、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属ではマイナス幅が縮小した。しかし、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 11.5	▲ 19.0	▲ 37.6	▲ 30.7	▲ 24.7	▲ 14.6
食料品	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 6.9	▲ 6.9	▲ 42.9	▲ 40.7	▲ 19.2	▲ 32.1	▲ 28.6
繊維関連	▲ 8.8	▲ 5.6	8.6	▲ 9.4	▲ 12.1	▲ 36.4	▲ 35.5	▲ 31.3	▲ 21.2
紙・印刷・出版	▲ 13.6	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 20.0
機械金属	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 23.5	▲ 20.6	▲ 42.9	▲ 37.1	▲ 32.4	▲ 17.1
電気・精密機械	▲ 10.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 22.2	0.0	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ 10.0	10.0
鉱業・窯業・土石	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 11.1	▲ 50.0	▲ 44.4	▲ 22.2	0.0
輸送用機械器具	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 23.1
その他	▲ 2.8	0.0	2.9	▲ 2.7	▲ 10.8	▲ 29.7	▲ 34.3	▲ 13.9	0.0



8. 採算（収益）

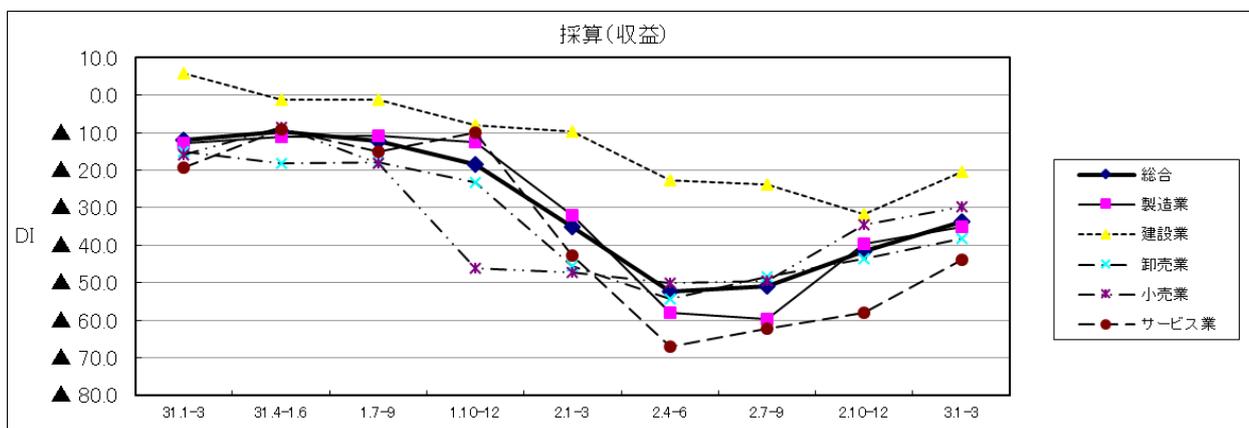
(1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲33.8と10～12月期に比べ7.9ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

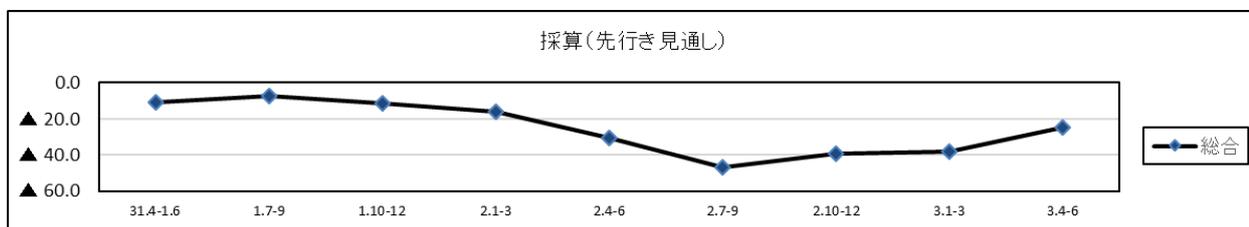
令和3年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲25.0（前回▲38.4）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

採算(収益)	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲12.0	▲9.6	▲12.3	▲18.4	▲35.1	▲52.5	▲51.0	▲41.7	▲33.8
製造業	▲12.9	▲11.1	▲10.7	▲12.6	▲31.9	▲58.1	▲59.8	▲39.8	▲35.1
建設業	5.8	▲1.1	▲1.2	▲8.0	▲9.6	▲22.7	▲23.9	▲31.9	▲20.4
卸売業	▲15.1	▲18.1	▲17.8	▲23.3	▲45.7	▲54.3	▲48.5	▲43.5	▲38.2
小売業	▲15.9	▲8.5	▲18.3	▲46.2	▲47.3	▲50.0	▲49.4	▲34.5	▲29.9
サービス業	▲19.3	▲9.0	▲14.9	▲9.9	▲42.7	▲67.0	▲62.2	▲57.9	▲43.8



<参考> 先行き見通し

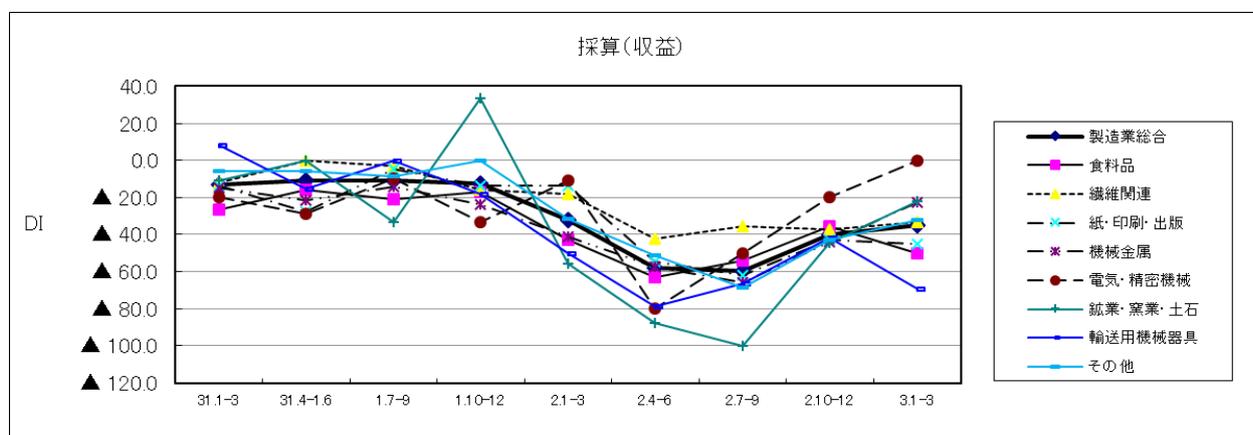
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	▲10.8	▲7.3	▲11.6	▲16.2	▲30.4	▲47.0	▲39.2	▲38.4	▲25.0



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連、機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 10.7	▲ 12.6	▲ 31.9	▲ 58.1	▲ 59.8	▲ 39.8	▲ 35.1
食料品	▲ 26.7	▲ 16.0	▲ 20.7	▲ 17.2	▲ 42.9	▲ 63.0	▲ 53.8	▲ 35.7	▲ 50.0
繊維関連	▲ 11.8	0.0	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 18.2	▲ 42.4	▲ 35.5	▲ 37.5	▲ 33.3
紙・印刷・出版	▲ 13.6	▲ 27.8	▲ 4.5	▲ 13.6	▲ 13.6	▲ 54.5	▲ 61.9	▲ 42.9	▲ 45.0
機械金属	▲ 14.7	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 41.2	▲ 57.1	▲ 65.7	▲ 44.1	▲ 22.9
電気・精密機械	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 20.0	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 11.1	0.0	▲ 33.3	33.3	▲ 55.6	▲ 87.5	▲ 100.0	▲ 44.4	▲ 22.2
輸送用機械器具	8.3	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 50.0	▲ 78.6	▲ 66.7	▲ 41.7	▲ 69.2
その他	▲ 5.7	▲ 5.6	▲ 8.6	0.0	▲ 31.6	▲ 51.4	▲ 68.6	▲ 42.9	▲ 32.4



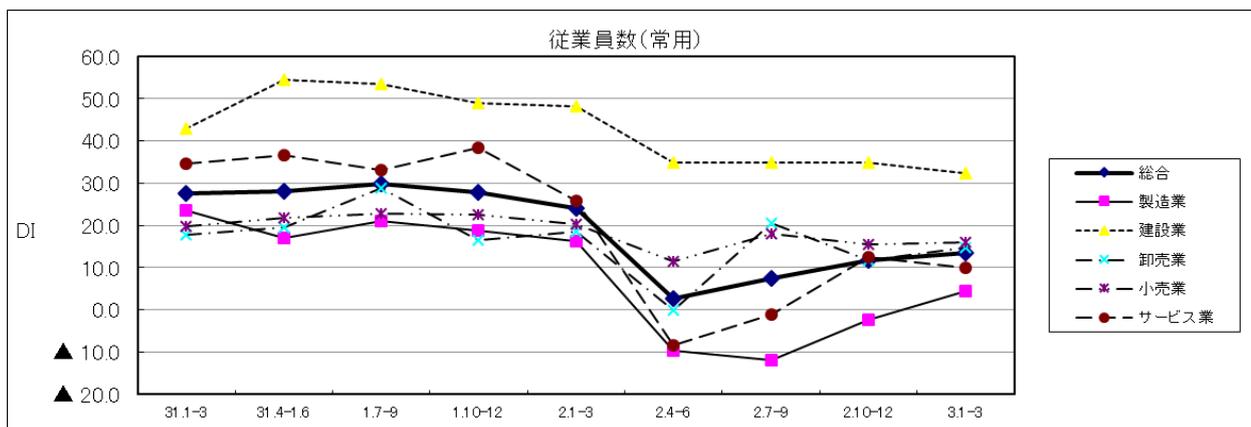
9. 従業員数（常用）

(1) 全体

総合D I（不足－過剰）は13.5と10～12月期に比べ1.7ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、卸売業、小売業でプラス幅が拡大、製造業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、建設業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

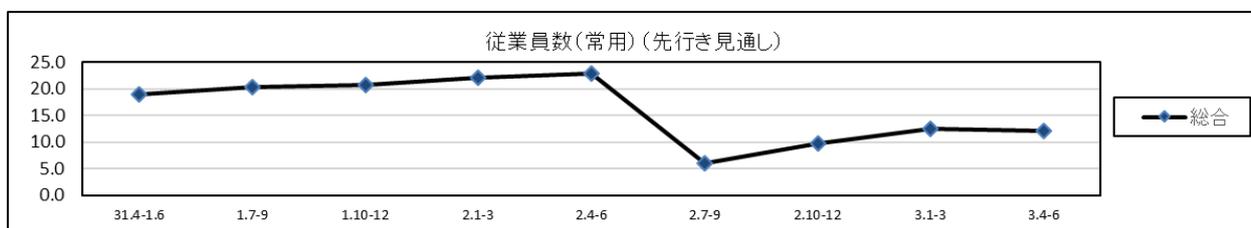
令和3年4～6月期の先行き見通し総合D Iは12.1（前回12.6）となり、プラス幅が縮小する見通し。

従業員数(常用)	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	27.5	28.1	29.9	27.9	24.2	2.6	7.4	11.8	13.5
製造業	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4	▲ 9.7	▲ 11.9	▲ 2.2	4.3
建設業	43.0	54.5	53.5	48.9	48.2	34.8	34.8	34.8	32.3
卸売業	17.8	19.4	28.8	16.4	18.6	0.0	20.6	11.8	14.7
小売業	19.8	21.7	22.8	22.6	20.2	11.6	18.1	15.5	16.1
サービス業	34.5	36.7	33.0	38.5	25.7	▲ 8.3	▲ 1.0	12.5	10.0



<参考> 先行き見通し

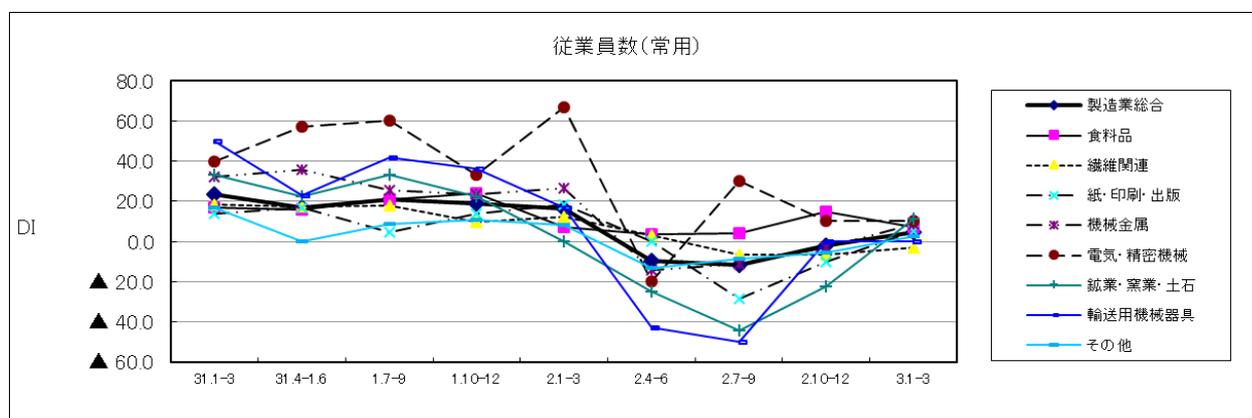
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	18.9	20.3	20.8	22.2	22.9	6.1	9.8	12.6	12.1



(2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版、機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連ではマイナス幅が縮小、電気・精密機械ではプラスで横ばい、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、食料品ではプラス幅が縮小した。

従業員数(常用)	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4	▲ 9.7	▲ 11.9	▲ 2.2	4.3
食料品	16.7	16.0	20.7	24.1	7.1	3.7	4.0	14.8	7.1
繊維関連	18.2	17.1	17.6	9.7	12.5	3.0	▲ 6.7	▲ 6.5	▲ 3.1
紙・印刷・出版	13.6	16.7	4.5	13.6	18.2	0.0	▲ 28.6	▲ 10.0	5.0
機械金属	32.4	35.7	25.7	23.5	26.5	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 2.9	8.6
電気・精密機械	40.0	57.1	60.0	33.3	66.7	▲ 20.0	30.0	10.0	10.0
鉱業・窯業・土石	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0	▲ 25.0	▲ 44.4	▲ 22.2	11.1
輸送用機械器具	50.0	23.1	41.7	36.4	16.7	▲ 42.9	▲ 50.0	0.0	0.0
その他	16.7	0.0	8.6	10.8	8.1	▲ 13.5	▲ 8.6	▲ 5.6	2.7



10. 従業員数（臨時）

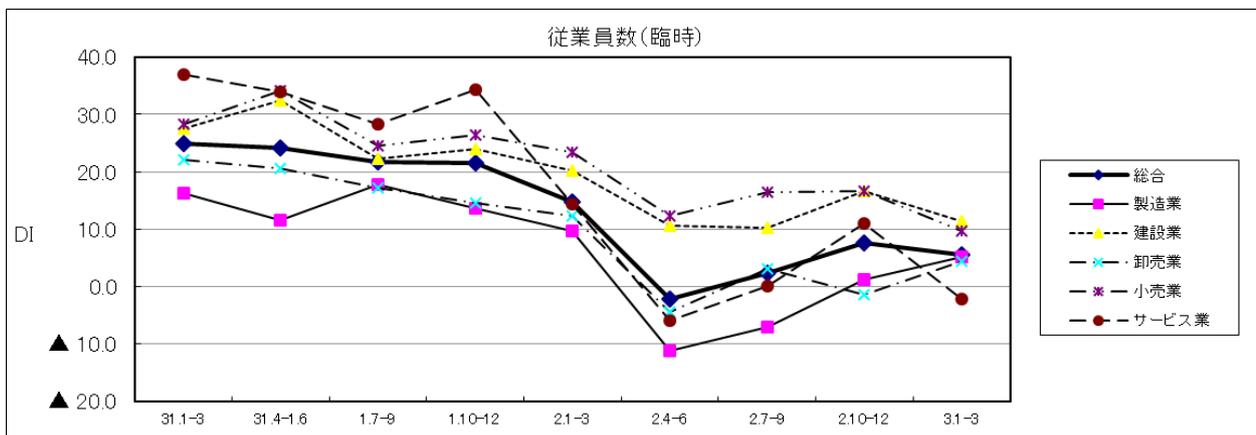
(1) 全体

総合DI（不足－過剰）は5.4と10～12月期に比べ2.3ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、製造業でプラス幅が拡大、卸売業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、建設業、小売業ではプラス幅が縮小、サービス業ではプラスからマイナスへ転換した。

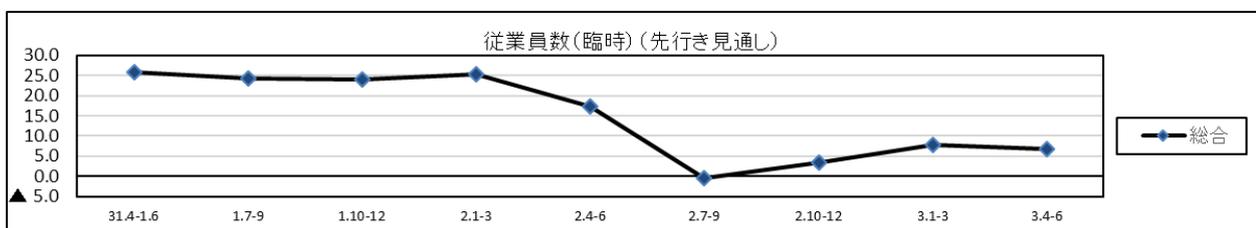
令和3年4～6月期の先行き見通し総合DIは6.7（前回7.8）となり、プラス幅が縮小する見通し。

従業員数(臨時)	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	24.9	24.1	21.7	21.5	14.7	▲ 2.2	2.2	7.7	5.4
製造業	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6	▲ 11.2	▲ 7.1	1.2	5.1
建設業	27.6	32.4	22.4	24.0	20.3	10.5	10.3	16.7	11.4
卸売業	22.1	20.6	17.1	14.5	12.3	▲ 4.5	3.1	▲ 1.5	4.5
小売業	28.2	34.1	24.4	26.5	23.5	12.3	16.5	16.7	9.6
サービス業	36.9	34.0	28.3	34.3	14.3	▲ 5.9	0.0	11.0	▲ 2.2



<参考> 先行き見通し

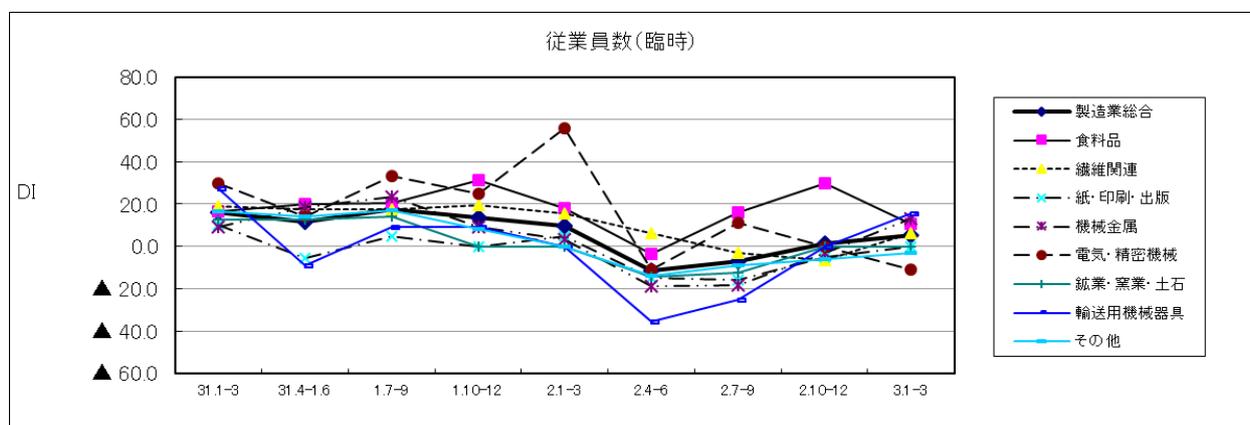
先行き見通し	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3	3.4-6
総合	25.7	24.3	24.0	25.4	17.3	▲ 0.6	3.3	7.8	6.7



(2) 製造業の内訳

輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、繊維関連、機械金属ではマイナスからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、その他ではマイナス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばいとなった。しかし、食料品ではプラス幅が縮小、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

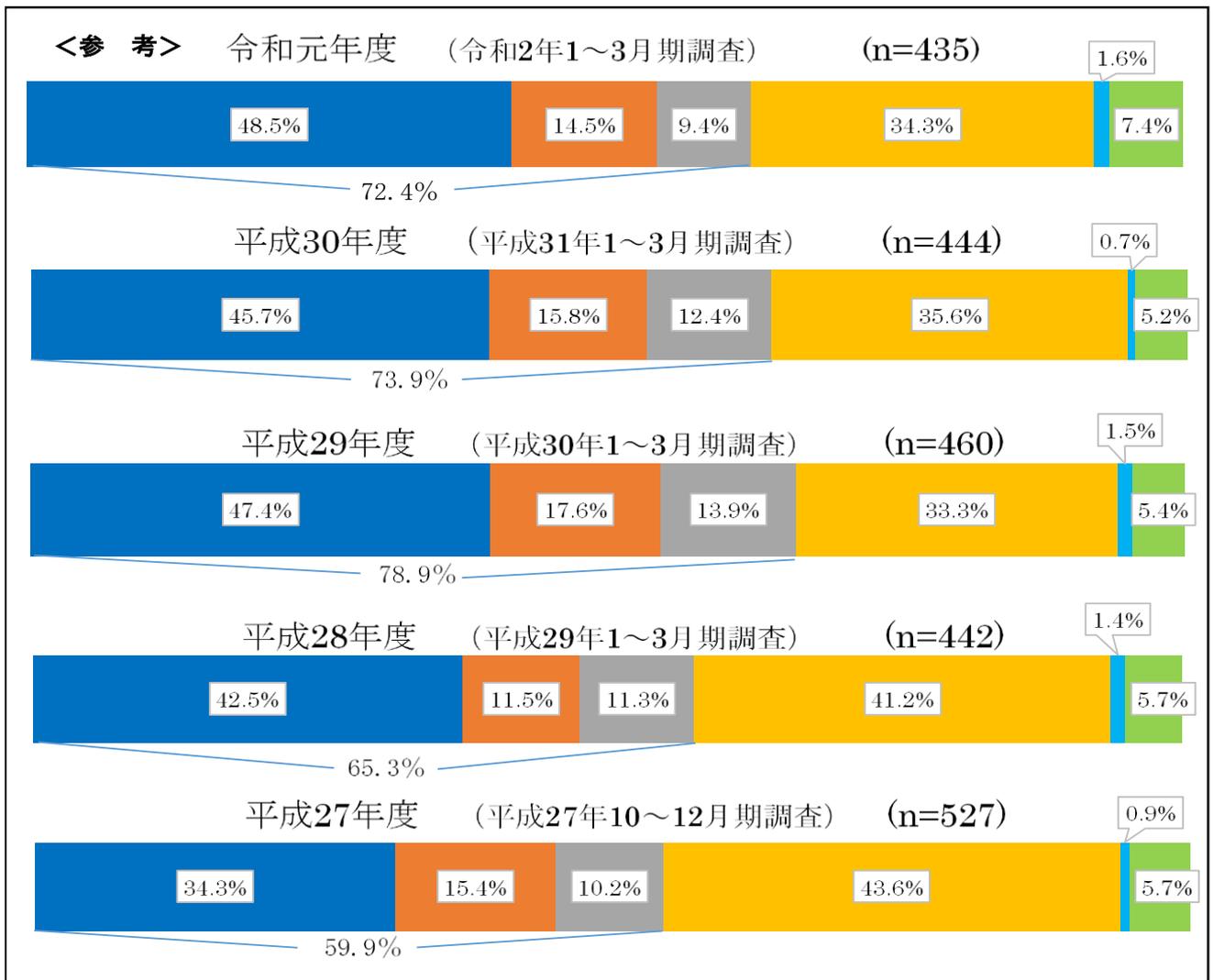
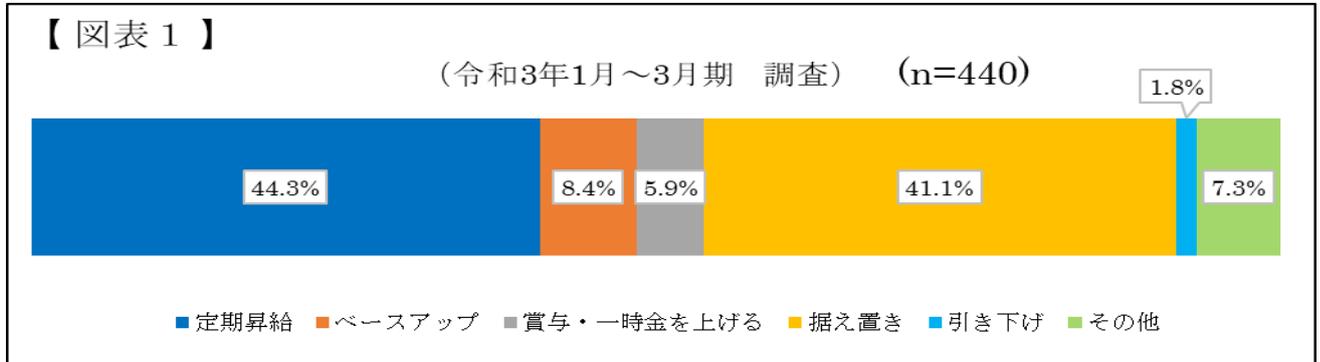
従業員数(臨時)	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
製造業総合	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6	▲ 11.2	▲ 7.1	1.2	5.1
食料品	16.7	20.0	20.7	31.0	17.9	▲ 3.7	16.0	29.6	10.7
繊維関連	18.8	17.6	17.6	19.4	15.6	6.1	▲ 3.3	▲ 6.7	6.1
紙・印刷・出版	10.0	▲ 5.6	5.0	0.0	4.8	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ 5.3	0.0
機械金属	9.4	18.5	23.3	9.4	3.1	▲ 18.8	▲ 18.2	▲ 3.3	12.9
電気・精密機械	30.0	14.3	33.3	25.0	55.6	▲ 11.1	11.1	0.0	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	12.5	12.5	14.3	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 12.5	0.0	0.0
輸送用機械器具	27.3	▲ 9.1	9.1	9.1	0.0	▲ 35.7	▲ 25.0	0.0	15.4
その他	16.7	13.9	17.1	8.3	0.0	▲ 13.9	▲ 8.8	▲ 5.9	▲ 2.9



◆付帯調査：賃上げの見通しについて

貴社では、来年度、何らかの賃金「引き上げ」を行う予定はありますか。
 当てはまるものを下記から選んでください。(複数回答可)

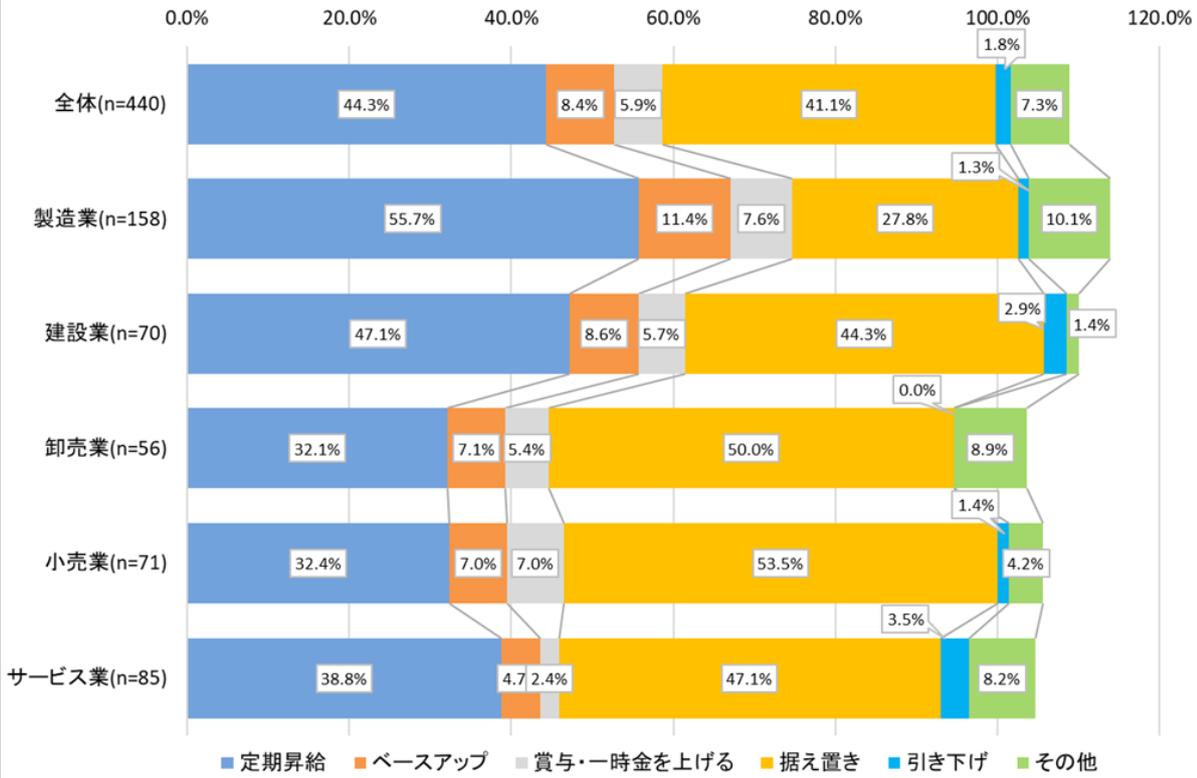
- 1.定期昇給 2.ベースアップ 3.賞与・一時金を上げる
 4.据え置き 5.引き下げ 6.その他



※複数回答のため、表中にラベル表記されるパーセントは回答項目を選んだ人が回答者のうち、何パーセントを占めるかを示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると100%を超えることもある。

【図表 2】

業種別に見た賃上げの見通しについて (n=440)



※複数回答のため、表中にラベル表記されるパーセントは回答項目を選んだ人が回答者のうち、何パーセントを占めるかを示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると100%を超えることもある。

○その他の主な意見

- ・6月末の業績をもって判断 (岡山・製造業)
- ・個別評価 (岡山・製造業、卸売業)
- ・初任給の引き上げ検討中 (岡山・卸売業)
- ・会社統合に伴い新給与体系に移行したことで基準額がアップしているので、更なる賃上げは実施しない予定 (岡山・小売業)
- ・コロナの影響が少なくなれば、夏季賞与は上げる予定 (岡山・サービス業)
- ・「定期昇給」と「ベースアップ」について交渉中 (岡山・サービス業)
- ・最低賃金の上昇を見て決定 (児島・製造業)
- ・賞与の引き下げ (高梁・製造業)
- ・最賃が上昇すれば、併せて上昇 (総社・製造業)
- ・1月に賃金を引き上げた (新見・製造業)